

オージの紙づくり調査ファイル

王子エンジニアリング株式会社
 苫小牧事業部

～機械や装置の修理・改良を担うプロ～

調査対象者

王子エンジニアリング株式会社
 苫小牧事業部
 工事管理課 Y.S.(2020年入社)

狭い場所に
 潜り込んでる!



工場内の調査を続けていたところ、三角コーンとバーで囲まれた小さな「工事現場」のような場所を見つけたオージ。その囲いの中で、大きな機械を相手に作業している若いスタッフに「一体何をしているの?」と尋ねるとは爽やかな笑顔で応じてくれた。



オージの聞き込み調査記録 1

プラントの安定した稼働を支えるのが役割。



Y.S.さん

私たちは大型機械やエネルギー関連装置の据え付け、各種整備を担う王子エンジニアリングの社員。大きく「設計」「機械類の工事監督」「電気関係の工事監督」「点検整備」の4部門に分かれて働いているんだ。例えば、王子製紙苫小牧工場内の機械が壊れた時にメーカーの設計図をもとにパーツを交換したり、新しいラインを設計して増設したり、外部の協力会社の職人さんに指示を出して修繕作業を進めるなど、プラントの安定した稼働を陰ながら支えているよ。



王子製紙 苫小牧工場の「外」の仕事も



大型機械やボイラー、用排水設備などの設置・点検・取替修理は非常に特殊。だから、この技術を他企業の工事にも生かして仕事を得ているんだって!

What are you doing?



オージの聞き込み調査記録 2

ダイナミックさも、超繊細な作業も。



Y.S.さん

僕が所属しているのは「点検整備」の部門。壊れた機械をもと通りに直したり、機能や設備を追加してより良いものに改善したり、定期的な点検をするのが主な役割。こううと簡単そうに聞こえるけれど、機械は大型のものが多いから何10トンもの部品をクレーンで吊り上げて数人がかりで交換するなど、作業はかなりダイナミック。一方、紙が切れたり、シワが寄ったりしないようにロールの中心部を0.01ミリ単位で決めるなど繊細で技量が求められる作業も担うんだ(写真左)。



オージの聞き込み調査記録 3

さら地に大きな機械を組み上げる手応え。



Y.S.さん

仕事で手応えを感じるのは、やっぱり何もなかった場所...つまりさら地に大きな機械を組み上げて完成した瞬間。据え付けといっても完成品をドーンと置くのではなく、メーカーから届いたパーツを現場に合わせて設計・製作した「ベース」「サポート類」を順番に組み上げていくイメージなんだ。もちろん、この作業にも0.01ミリ単位の微調整が必要。かなり特殊な技術が求められるからこそ、工事監督の立場でも、



実作業を担う僕らでも「自分たちにしかできない」というプライドを感じられるのがやりがいになるんだよね。



ミクロン単位の研磨作業



抄紙機のロールを研磨する作業は、ミクロン単位の誤差でも紙の仕上がりに影響が出るとか。砥石の粗さや、かける力を変えながら約5日間かけて一つのロールを磨き上げる職人技!



紙づくりキーポイント!



王子エンジニアリングならではの強み。

- 工事監督として機械・電気設備の改修までさまざまな現場に対応できる幅広いスキル。
- 紙を作るマシンのロール取替や整備、研磨作業はチームで対応。
- 新しいラインの設計や各種工事の資材調達・製作・取付も担当。
- 自慢は多くの仕事で培った現場力。

ニッチな技術を身につけていけるのも楽しそうだね

